

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 5 日現在

機関番号：15501

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23501149

研究課題名(和文) 教員養成における自発的研修活動の効果と評価方法の確立

研究課題名(英文) A study on the effect and evaluation of voluntary training in the teacher training.

研究代表者

岡村 吉永 (OKAMURA, YOSHIHISA)

山口大学・教育学部・教授

研究者番号：10204025

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：学校教員を目指す学生が行う自発的研修について、その位置づけや意義、実践の効果を高めるための振り返りの方法などについて検討を行った。学校で行う学習支援等のボランティア活動は、学生の主体性に任されることが多いが、効果を高めるためには、大学が有するカリキュラムや卒業研究と関連付けることが求められる。本研究は、こうした学生の自発的研修を支えるカリキュラムおよびその具体的な実施、実践を効果的に記録し省察を支援する方法について提案と確認を行った。

研究成果の概要(英文)：With respect to voluntary trainings of the students who aim for a school teacher, We examined the positioning and meaning, and the reviewing methods to enhance the effectiveness of practice.

In many cases volunteer activities such as learning support conducted at school are left to the independence of mind of participating students. However, it is necessary to associate with the curriculum of a university and graduation research in order to enhance the effectiveness. In this research, We made a proposal and confirmed with respect to the curriculum to support voluntary trainings of such students, the specific contents and the method to effectively record the practice and support the reflection.

研究分野：教育工学

キーワード：教育工学 教師教育 自発的研修活動

1. 研究開始当初の背景

中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」(2006年7月11日)等に見られるように、社会の大きな変動を受けて、「教員の資質向上」ならびに「学部段階の教育」に関する質的保証が求められるようになってきた。現在多くの教員養成系大学学部が取り組んでいるボランティアやインターンシップなどの自発的活動は、実践を通して教員に求められる資質能力の向上が図られることを期待するものであるが、その評価については未だに指針と呼べるものがなく、効果に関する検証も不十分なままである。結果として、これが教員養成教育における自発的活動の意義を不明確にし、活動内容や質のばらつきを大きくする要因の一つともなっている。教員養成における質的保証の観点からも、早急な改善が必要である。

2. 研究の目的

これからの学校教員には、社会の大きな変動とこれに起因する様々な事象に適切に対応できる基礎的な資質能力が強く求められている。近年、教員養成では、こうした能力を獲得する一方策として、ボランティアやインターンシップなど、学生の自発的研修活動が多く取り入れられるようになってきているが、その方法や質にはばらつきが大きく、効果や評価に関する検討も不十分である。本研究では、主にこうした自発的研修活動を対象に、その効果や適切な評価方法、特に適切な評価指標の策定を課題として、事後評価を教員養成教育へ還元するための具体的な方策を提案し、その検証を行うことを目的とする。

3. 研究の方法

本申請では、内容を2つの課題に整理し研究を推進する。

課題1は、自発的研修活動を支える評価方法の検討および研修効果に関するもので、まず現在行われている研修の実態や評価のあり方を調査整理し、基礎資料とする。続いて、自己評価シートをもとに自発的な研修に参加した学生の時系列的な変化や異群間での比較分析等を行い、最終的に実用性の高い評価方法の提案を行う。

課題2では、まず自発的な研修に関わる各当事者(学生および大学教員等)が有する評価イメージとそのずれを明確化し、設定されるべき評価指標を検討するための基礎資料とする。さらに、これらに課題1の成果を加えて評価のハイパーサイクル化を行い、その組織化と新たな評価指標創出を試みる。最終的に、ここで得られた評価指標ならびに課題1の評価方法を用いて自発的研修活動の事後評価を行い、成果や課題を新たな実践に還元させるための方策を検討する。

4. 研究成果

(1) 学校教員を目指す学生が、その資質ならびに実践力向上を目的として地域の学校で行う自発的研修活動について、他大学等の例を調査するとともに、山口大学教育学部が培ってきた「ちゃぶ台方式」を教員養成の仕組みに活用するための要点を整理した。

国立系の教員養成系大学・学部を中心に聞き取り調査をした結果は、教職実践演習導入の影響もあって、各大学とも学生の自己評価を推進しようとしているが、その方式や評価項目等にかかなりの違いがみられる。ただし、いずれもPDCAサイクルを意識した仕組み作りがされており、自己評価を学生自身の学びに還元する工夫がなされているのは、近年の共通した傾向といえよう。図1は、「ちゃぶ台方式」を活用した小学校教員養成の仕組みで、実践と省察が確実に実施されるよう、学生の自発的研修活動とカリキュラムとが連携するよう図られている。

また調査では、社会的マイノリティー者を理解するためのヒューマンライブラリー活動についても調査を行った。この活動は、多様な価値観や他者理解を育む効果があり、国際化やインクルーシブ教育への対応が迫られる学校教育ならびに教員養成に貴重な示唆を与えてくれるものである。山口大学教育学部小学校教育コース(以下小学校教育コース)では、平成25、26年度に授業(教職協働実践)でこの活動に取り組み、学生が社会構造や社会システムの中にある社会的関係を踏まえて人をまなざす視点を持つ重要性に気づくことができた。

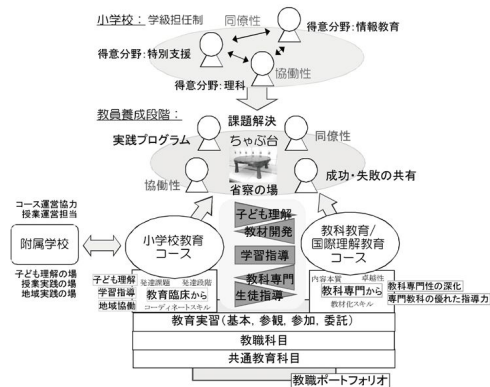


図1 「ちゃぶ台方式」を活用した小学校教員養成の仕組み(小学校教育コース)

(2) 学生が地域の小学校等で行う自発的研修活動と連携したカリキュラムとその効果について検討した。「ちゃぶ台方式」をカリキュラムに連携させた結果、小学校教育コースでは、学生の自発的研修活動が暗黙的なカリキュラムとなっている。明示的な正規カリキュラムについては、小学校教員に求められる全般的な能力として「学習指導」「子ども理解」「協働実践」を3つの系を軸に据え、これに基づく授業科目群を整理し、各学年にバランス良く配置した。平成21年度の入学者

日本教育大学協会研究集会、2014.10.18、仙台国際センター（宮城県仙台市）

霜川正幸、教員養成系大学において「交流人事教員」が果たしてきた役割と課題、全国教員養成系大学交流人事教員交流会、2014.9.19、岐阜大学（岐阜県岐阜市）

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕
出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡村 吉永 (OKAMURA, Yoshihisa)
山口大学・教育学部・教授
研究者番号：10204025

(2) 研究分担者

霜川 正幸 (SHIMOKAWA, Masayuki)
山口大学・教育学部・教授
研究者番号：80437615

鷹岡 亮 (TAKAOKA, Ryo)
山口大学・教育学部・教授
研究者番号：10293135

沖林 洋平 (OKIBAYASHI, Yohei)
山口大学・教育学部・准教授
研究者番号：20403595

岸本 憲一良 (KISHIMOTO, Kenichirou)
山口大学・教育学部・教授
研究者番号：90437616

源田 智子 (GENDA, Tomoko)
山口大学・教育学部・准教授
研究者番号：70144904

田中 理絵 (TANAKA, Rie)
山口大学・教育学部・准教授
研究者番号：80335778

南浦 涼介 (MINAMIURA, Ryouzuke)
山口大学・教育学部・講師
研究者番号：60598754

久保田 尚 (KUBOTA, Takashi)
山口大学・教育学部・准教授
研究者番号：30610860
(平成24年度より研究分担者)

長谷川 裕 (HASEGAWA, Yutaka)
山口大学・教育学部・准教授
研究者番号：3055719
(平成23年度まで研究分担者)